

昭和48年度 学位授与・単位修得論文

昭和48年度 博士課程単位修得論文

商学研究科

ドイツ原価理論の一研究	稲田 卓次	(岡本 清)
プロジェクト評価のシステム分析	杉山 武彦	(宮川 公男)
株式会社社会計法評価規定の展開 (上・下)	安藤 英義	(森田 哲弥)
貨幣経済学の基礎 (抄録)	羽染 耀三	(小泉 明)

経済学研究科

明治前半期における三井の資本蓄積 (上・下)	千田 稔	(中村 政則)
カナダの経済発展1867—1913	飯沢 英昭	(浜林 正夫)
社会主義企業についての若干の考察	西村 可明	(宮鍋 幟)
日本ファシズム体制と農村協同組合	森 武麿	(永原 慶二)
消費者行動の理論	石井 安憲	(藤野正三郎)
国際短期資本移動論の展望	唐沢 延行	(小島 清)
貨幣需要関数の計測	池本 正純	(藤野正三郎)
不完全競争の一般均衡理論	皆川 正	(荒 憲治郎)
公共財配分の理論	松田 忠三	(木村 元一)
産業組織論の基本問題	武蔵 武彦	(宮沢 健一)
ドイツ資本主義と中間層問題	高野 政子	(外池 正治)
16世紀南西メクレンブルクのグーツヘルシャフト	高木 正道	(山田 欣吾)
大蔵省預金部の研究	池上 和夫	(永原 慶二)
日本の経済発展と技術選択	大塚 勝夫	(梅村 又次)

法学研究科

Warranty と消費者保護	谷原 修身	(吉永 栄助)
製造物責任の研究	圓谷 峻	(好美 清光)
アメリカ行刑手続における懲罰手続とデュー・プロセス	福田 雅章	(福田 平)

一 橋 研 究 第 27 号

身分と共犯 諸外国の法制を中心として
対外政策決定過程の組織分析
国家承継

泉 健子 (福田 平)
野林 健 (細谷 千博)
森川 俊孝 (皆川 洸)

社会学研究科

原爆被害者の生活史調査——その課題と方法——
戦時下民衆状態研究序説
——天皇制の崩壊と民衆意識——
六朝の地方官吏について
国民社会主義の思想と実践
——「ナチス左派」の研究——
古典派経済学における帝国・植民地論
——研究史の回顧と展望——
家内工業史研究序説
——19世紀末イギリスを例として——
全体性の構造と論理——或る全体像を巡って——

浜谷 正晴 (石田 忠)
市川 亮一 (藤原 彰)
佐藤 佑治 (増淵 竜夫)
蔭山 宏 (大野精三郎)
斎藤 義介 (山田 秀雄)
大石 恵子 (太陽寺順一)
宇治 琢美 (良知 力)

昭和48年度 修士学位論文

商学研究科

C・アージリスの人間指導論
不確定性と資源配分
商品勘定の分割に関する勘定理論的考察
統制の時間的次元に関する一考察
企業の環境状況と組織適応
企業合同会計の研究
リトルトンの歴史的原価主義理論
資金計算における資金概念の確立と資金計算書
システム理論の基礎
決算貸借対照表の目的
集計計画問題の研究

荘 勲進 (雲嶋 良雄)
吉川 智教 (宮川 公男)
秋葉 国利 (森田 哲弥)
一瀬 益夫 (宮川 公男)
岸田 民樹 (今井 賢一)
北出 隆三 (中村 忠)
酒井 仁司 (中村 忠)
佐藤 倫正 (中村 忠)
丹下 忠之 (宮川 公男)
新田 忠誓 (森田 哲弥)
三浦 典義 (宮川 公男)

現在価値法と利回り法に対する一考案
流通産業への一考察
フリードマンの貨幣数量説
現代の国際通貨体制と金
国際マーケティングの一研究

陳 徳芳 (矢島 基臣)
相原 修 (田内 幸一)
丹羽 明 (花輪 俊哉)
ハンデッククアン(小泉 明)
李 錦徳 (田内 幸一)

経済学研究科

東南ア諸国における外国資本の
役割に関する研究(上・下)
パローネによる共産主義経済の基礎理論の構築
Monetary Approach to Income, Employment
and the Price Level
生産性上昇率格差インフレ論の検討
異時点資源配分と租税政策
アントワープの繁栄と外国貿易
銀行行動と金融市場
造船業の発展と財閥資本
個人所得階層間の推移
一マルコフ連鎖モデルによる分析
成長モデルと財成パラメーター
参入阻止理論に関する一考察
労働分配率と経済成長率
金生産と蓄蔵貨幣
開放経済における財政・金融政策の効果
社会主義における経済計算の一考察
効率的資源配分と公共投資基準
戦国期領国経済の展開とその特質
不確実性下の企業行動
タイの経済発展と財政収入の一研究
日本恐慌史の一研究
——1920年恐慌を中心として——

林 華生 (永原 慶二)
長峰 朗 (美濃口武雄)
清水 啓典 (宮沢 健一)
山木戸道憲 (都留 重人)
毛島 達雄 (大川 政三)
中沢 勝三 (山田 欣吾)
ビタクサンテイ・
ウォンピロンサン (藤野正三郎)
立松 潔 (中村 政則)
吉岡 慎一 (溝口 敏行)
李 文斌 (江見 康一)
芹沢 数雄 (荒 憲治郎)
叶 芳和 (宮沢 健一)
北原 徹 (高須賀義博)
油井 雄二 (江見 康一)
久保庭真彰 (関 恒義)
申 泳植 (江見 康一)
石崎 裕子 (永原 慶二)
松川 周二 (藤野正三郎)
タニオン・
マンチャイトン (大川 政三)
鈴木 恒夫 (中村 政則)

一 橋 研 究 第 27 号

社会的公正と財政制度	小林 均	(木村 元一)
社会主義経済理論における生産手段生産部門 の優先的発展法則にかんする若干の考察	原 優治	(宮鍋 幟)
フランス西部に於ける農村工業と零細小土地所有	小林 瞭史	(山田 欣吾)
資本蓄積と地価理論	頭川 博	(青木外志夫)
初期リカードウにおける利潤理論	近野 登	(種瀬 茂)
江西ソビエトの経済事情と経済政策	小林 靖夫	(村松 祐次)

法学研究科

特許法と独占禁止法	岩月 史郎	(吉永 栄助)
経済犯罪の最近の動向について	武田 守弘	(吉永 栄助)
取引関係における企業の民事責任論序説	岡 孝	(川井 健)
涉外家事事件における「方法の問題」について	牧 三平	(塚場 準一)
現代国際社会における条約締結の法と手続き	赤松 梓	(皆川 洸)
デュー・プロセスと伝聞排斥の法理	菊川 秀子	(福田 平)
第二次大戦末期の米国の中国政策	瀧田 賢治	(細谷 千博)
被疑者の勾留	宮城 啓子	(福田 平)
プライバシーの権利	矢崎 博一	(福田 平)
オットー・ヒンツェにおける「近世国制史」の形成過程	山内 進	(勝田 有恒)
継統追跡権の研究	山田 努	(皆川 洸)

社会学研究科

エジプトの綿花モノカルチャー経済と「地主経営」	藤田 進	(山田 秀雄)
人民公社所有制と商品経済	石原 享一	(増渕 竜夫)
中国ソヴェトにおける民衆の動態	内田 知行	(増渕 竜夫)
組合の成立と安定 ——U. A. W. ルーサー体制の成立——	高田 一夫	(津田 真澄)
19世紀後半におけるイギリス農業の構造変化	原田 康美	(山田 秀雄)
マックス・アドラーの「社会化」概念とマルクス主義	上野 卓郎	(良知 力)
「仁学」について	杉山 文彦	(西 順蔵)
ヘーゲル「精神現象学」における否定の論理	銭広 雅之	(鈴木 秀勇)

カントにおける現存在概念	高野 敏行	(鈴木 秀勇)
近世被治者思想の系譜	平野 豊雄	(安丸 良夫)
サルトルにおける自己意識	藤江 泰男	(古賀英三郎)
イェナ初期におけるヘーゲルの近代自然法批判	前田 庸介	(良知 力)
インドネシアの学校教育制度の展開 ——近代日本の教育制度との比較研究のために——	ビビン・ハナビア	(津田 真激)
ベルクソンの身体論	田尻 康男	(南 博)